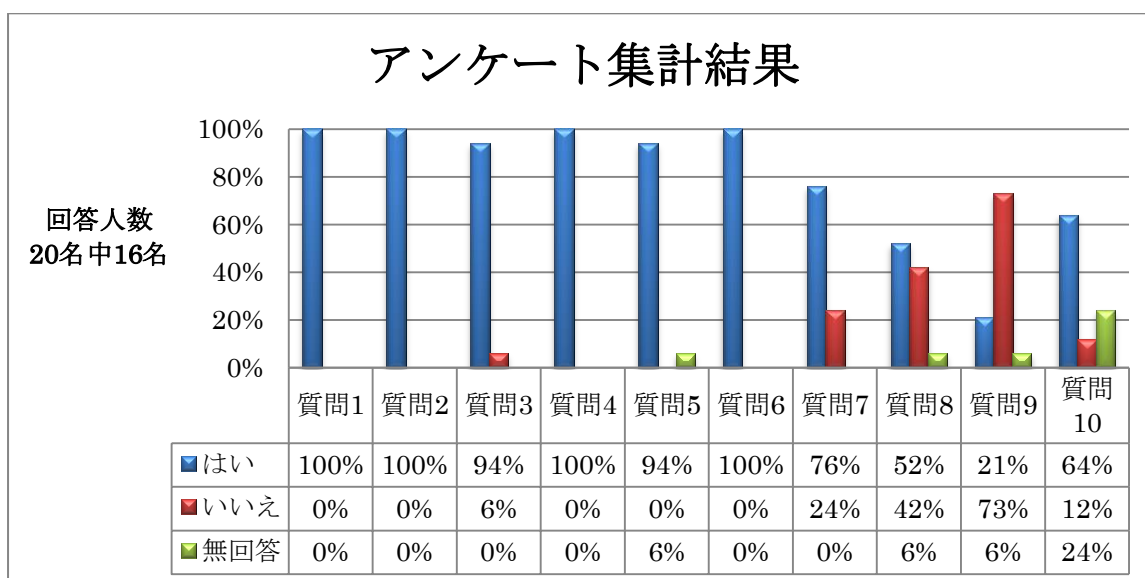


## 2018年 高槻けやきの郷アンケート結果のご報告

平素より、格別のご愛顧を賜りまして厚く御礼申し上げます。

当施設におきまして、ご利用者ご家族に対し2018年8月に無作為抽出型でのアンケートを実施させて頂きました。その結果の集計が終了いたしましたのでご報告させて頂きます。ご回答頂きましたご利用者ご家族には、改めて御礼申し上げると共に、頂いたご意見を施設内にて前向きに検討を重ね、ご利用者皆様へのより良いサービスの提供へ繋げていけるよう努力してまいりますので、今後ともご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。



### アンケート内容

質問1： スタッフの対応（電話・窓口・サービス提供時）は適切ですか

質問2： スタッフは気持ちの良い挨拶ができていますか

質問3： 困ったことや苦情・要望の相談ができるスタッフはいますか

質問4： スタッフはご本人やご家族の依頼に対して責任を持って対応ができていますか

質問5： 安心してご利用いただける介護サービスとなっていますか

質問6： スタッフは好感がもてる身だしなみができていますか

質問7： 高槻けやきの郷ホームページがある事を知っていますか

質問8： ご利用者の「人生の最終段階」について、日頃からご家族間で話をされていますか

質問9： ご利用者の望まれる「人生の最終段階」について、施設スタッフと話を

されていますか

質問 10： ご利用者の「人生の最終段階」には、病院ではなく施設での看取りケアを希望されますか

※ 質問 8・9・10 について、

今回のアンケートでは、『人生の最終段階』についてお伺いしました。『人生の最終段階』という文言は、厚労省が『終末期医療』から改訂したものです。日本は超高齢社会、「人生 100 年時代」となり、人生の終わりを見据え、より自分らしく充実した人生を送るための準備として、「老活・終活」への取り組みが社会に浸透してきております。

「老活」とは・・・『死の直前のことだけを考えるのではなく、今から最期までの全体を考えましょう』

「終活」とは・・・『死後のことに備えること、特に死の直前のことに備えること』これからだんだん衰えていく老いの時代、どう自分らしく生きぬくかを考え実践していく時代となっております。

そこで、ご利用者の『人生の最終段階』についてご家族で話し合っておられるのか、まだ考えておられないのであれば今から共に考えていければと思います、アンケートを実施させていただきました。具体的には、車椅子が必要であっても今元気な間に行きたい場所がある、など聞かせて頂き、そのために必要なケアをスタッフも共に考え実践することで、夢が現実になり、ご利用者の『人生の最終段階』をより豊かなものにできるのではないかと考えております。

また、当施設における看取りケアは、ご利用者ご本人ができるだけストレスなく、自分らしい最期を迎える、そのために必要な介護を実践することであると考えております。

私たちも含め全て方の人生にはいつか終わりが来ます。この機会に一度、ご家族皆様でそれぞれの『人生の最終段階』について話をしてみて頂ければと思います。

今回のアンケートにおいて、ご利用者ご家族から頂戴したご意向やご意見、全てを真摯に受け止めさせて頂き、「介護老人福祉施設 高槻けやきの郷に入居して良かった」とご利用者・ご家族皆様に感じて頂けるよう、風通しの良い、より良い関係作りに努めてまいります。また、今後も定期的な満足度調査を実施致しますので、その節には改めてご協力頂けます様、お願い申し上げます。

2018 年度	高槻けやきの郷	アンケート概要
調査期間：	2018 年 8 月 15 日	～ 8 月 30 日
調査対象：	当事業所をご利用頂いている利用者ご家族様	
調査方法：	無作為抽出型方法にてアンケート用紙配布・回収	
調査担当者：	高槻けやきの郷	管理者 中島 康博